

平成30年度 上田市立丸子北小学校 職員の学校自己評価 <最終>

1 結果

<集計の仕方>

※ A:十分達成→5点 B:おおむね達成→3点 C:やや不十分→1点 D:不十分→0点 とし、合計点を全員がA(5点)をつけた場合の何%にあたるかを達成度とした(人数は、項目により異なる)。

$$(A \times \text{人数}) + (B \times \text{人数}) + (C \times \text{人数}) + (D \times \text{人数}) = \text{合計点} \quad \text{合計点} \div (5 \times \text{合計人数}) \times 100 = \text{達成度}$$

	評価の観点	29年 12月	30年 7月	30年 12月	成果(O) や 課題(◇) ・ 改善策(◆)
学校目標を具現するための指導体制の確立と実践	①3つの重点目標の具現に向けて、職員が共通認識をもち、連学年、学年、クラスで取り組んでいるか。	66	58	60 ↑	<p>○学年で生活の見直しを行うためのプロジェクトチームを作ったことで自分で考えることができ、自主性を伸ばすことにつながった。</p> <p>○学年・連学年で顔を合わせ、話をして共通理解を進めることができた。</p> <p>○公開が進められていてよい。</p> <p>◇全職員でできたのか疑問が残る。</p> <p>◇「主体性」「豊かな心」について、養い育む手立てがあまり検討されていないように思う(学年・学級差がある)。</p> <p>◇特コ4人がもう少し連携し、情報を共有できるとよかったと思う。</p> <p>◆今後も、学年会や職員会議などで話題にすることで共通認識を深める。</p> <p>◆学級経営案を見返し、学年会で再度具体的な取り組みを検討する。</p> <p>◆職員会議で、各学級や学年の取り組みを定期的に報告し合い、学年・学級差を減らす。</p>
	②児童は、返事や発言の仕方、聴く態度が身についているか。	50	45	53 ↑	<p>○全校集会の聴き方が全体的によい。</p> <p>○「発表・説明・指示」を最後まで聴けるようになってきた。</p> <p>○聴くことが苦手な子が多いと感じているので意識を向けさせるようにした。</p> <p>○クラスの子はできるようになった。</p> <p>◇一連の動作について、クラスによって差があるように感じる。手を挙げて発言するクラスもあれば、話している人の方を向いて聴けない人もいる。</p> <p>◇モデルを示していきたい。</p> <p>◇高学年になってくると、発言する児童が決まってきたり、返事なども個人差がある。</p> <p>◆自分の思いや考えを自由に言える学級の雰囲気高める。</p> <p>◆「丸子北小スタンダード」を進める。</p> <p>◆「グー」「ペタ」など、常に確認しながら、意識化を図る。</p>
	③児童は、進んで考え、自分なりに表現しようとしているか。	60	50	57 ↑	<p>○友達同士で感想や意見を言い合う活動を多く取り入れている。</p> <p>○◇一人で考えることはできているが、それを表現するところは課題がある子も多い。</p> <p>◇言葉遣いの誤りを恐れ、表現する児童が限られている。</p> <p>◇子どもの姿から、半々である。</p> <p>◆「丸子北小スタンダード」を進める。</p> <p>◆特定の児童に発言が偏らないように、ペアやグループ内での発表の時間を確保する。</p>
	④児童は、自分から挨拶ができているか。	42	50	48 ↓	<p>○気持ちのよい挨拶ができる子が多い。</p> <p>○個人差があるが、気持ちのよい挨拶をしてくれる子が多い。</p> <p>○自分から挨拶できる子が、微増したように思う。</p> <p>○朝、学習のめあてを発表することで、自分で伝えることに意欲がもててきた。</p> <p>○朝の挨拶はよくできている。</p> <p>○◇6年生の自覚をもってできている子は多いが、声が小さくなりいがちな子もいる。</p> <p>◇教師が挨拶をしても返ってこないときがある。「自分から」でなく、「挨拶をする」ところから取り組んでいく必要を感じる。</p> <p>◇進んで…というまでには、まだまだである。</p>

				<p>◇自分から挨拶できる子は多いが形式的で、挨拶を返す子が少ない。</p> <p>◇教師から挨拶をしないと返ってこないことが多い。</p> <p>◇「自分から…」をさらに意識付け、習慣付けしたい。</p> <p>◇挨拶できる子と、できない子が、ほぼ決まってきた。</p> <p>◆「北小っ子ルール」「ハイ！」の指導・徹底</p> <p>◆学級・学年で話題にして目標をもって取り組んだり、定期的に見返す場を設定したりする。</p> <p>◆教師間の挨拶も含め、教師自身が進んで気持ちのよい挨拶をするように心掛けていく。</p>
	⑤児童の清掃は、低「自分のやることをしっかり」中「自分から気づいて動く」高「責任をもち、そうじ場所と自分の心を振り返る」はできているか。	46	49	<p>57 ↑</p> <p>○毎日「振り返りカード」を書くことにより、「ただ静かなだけではダメ」「～さんがすごい」など、考える清掃ができています。</p> <p>○「学年そうじ」をして、自分の掃除のやり方を見返し、気付いて教え合う清掃になってきた。</p> <p>○自分のやることにしっかり気付いて、動ける児童が増えた。</p> <p>○自分でどのように掃除をすればよいか考えられるように声掛けをしている。</p> <p>○黙って、よく見て、熱心に取り組めるようになってきた。</p> <p>○静かに丁寧に清掃に取り組んでいる子が増えた。</p> <p>○管理棟や1年生の教室など、6年生として任される掃除分担任になった子どもたちは、責任をもって掃除に取り組んでいる。</p> <p>○◇「自問清掃」をやっているクラスと一緒に掃除をして世界が広がった。職員同士の共有・意識化を図りたい。</p> <p>◇分担によって差があるように感じる。どこでもきちんとできるようにしたい。</p> <p>◇掃除をしていない児童はいないので、黙って時間いっぱいできるようにしていきたい。</p> <p>◇個人差がある。「気づく心・気づく目」「自分はどうか」その部分をくすぐっていけるようでありたい。</p> <p>◇目が行き届かないところは、遊んでしまったり、人任せにしたりする姿が見られる。</p> <p>◇振り返りがあるクラスと、ないクラスがある。統一してもよい。</p> <p>◇やることは分かっているが、気付いて動くことがまだできていない。できたときに、すぐ褒めるようにしている。</p> <p>◇清掃のめあてをもって、一人ひとりが取り組んでいるのか疑問。</p> <p>◆「北小っ子ルール」「ピカピカ！」の指導・徹底。</p> <p>◆学年の実態に応じて、具体的に目標を決め出し、学年集会などで意識を高めたり、振り返りを行ったりする。</p> <p>◆全校集会を開くなどして、全校の意識を高める。</p> <p>◆来年度の重点目標に据え、全校で共通の意識をもって取り組む。</p>
基礎的な学力の定着と自己表現の育成	⑥重点研究は、具体的な子どもの姿にもとづき、自己課題を意識した研究になっているか。	73	64	<p>60 ↓</p> <p>○国語と学級づくり、何かいい方向に向けられそうな気がしている。</p> <p>○文章要約や意見文を書くことで、読解力が向上した。</p> <p>○「SSTの時間」を、不定期であるが進めている。</p> <p>◇もっと心に動きを感じられる研究になればよかった。特に、「学級づくり」は、全職員に活動を広めてほしかった。</p> <p>◇「学級づくり部会」で話し合った「方法」や「取り組み」を、もっと発信すればよかった。</p> <p>◇意識や取り組みにおいて、職員の個人差が大きい。</p> <p>◇研究の方向性を明確にし、部会で共有したい。</p> <p>◇年間を通した「職員一人ひとりの課題（テーマ）」を明確にして、一人一公開を行ってはどうか。</p> <p>◆研究の方向性を明確にして部会で共有し、職員一人ひとりの課題・実践へつなげる。</p> <p>◆各部会の研究を全体に広げられるよう、情報の共有化を工夫する。</p>
	⑦子ども自身が今持っている力で考え、行動し、「自分の力でできた」と実感できる授業づくりをしているか。	62	43	<p>54 ↑</p> <p>○よい行動、よい考え、気づきをその場でいっぱい褒めることで、意欲につながる。</p> <p>○学習規律が整い、積極的に学習を進められている。学び合いで低位生の子を周りの子が上手にサポートしている。</p> <p>○経験（事象との出会い）や、気づきを共有することを大切にしている。そして、それらを基に課題解決の手立てとしている。</p>

				<p>○「この頃算数がおもしろい。」「〇〇が好きになってきた。」という声が出るようになった。分からないところを、休み時間に自分から聞きに来る児童が増えた。</p> <p>◇活動する時間をたっぷり確保できるように考えていきたい。</p> <p>◇なかなか全員にならないことが大反省。</p> <p>◇教材を工夫して提示したり、学習カードを用意したりしているが、自分が教え込んでしまうことも多く反省。</p> <p>◆「丸北小スタンダード」を進める。</p> <p>◆児童の実態に合った課題を設定すると共に、毎時間「振り返りの時間」を確保して、自己評価を行う。</p> <p>→個々の学びや伸びを認め、励ます・</p>
⑧学習問題を黒板に提示し、ねらいを明確にした「わかる授業」を行っているか。	67	52	58 ↑	<p>○ホワイトボードを確認して、学習する内容を理解し、取りかかれるようになってきている。</p> <p>○「ねらい・めあて」を毎時間提示できるように心掛けている。</p> <p>○子どもとのルールが確立し、どこにフードバックすればよいか分かるようになり、質の高い授業ができるようになった。</p> <p>◇文字だけでなく、授業のめあてや流れが分かる板書を心掛けたい。</p> <p>◇授業の流れは書くが、課題を毎時間しっかりと書くことは自分にとって3学期の課題である。</p> <p>◇2学期は算数で得点率が下がった。「分かる」につながっていない。</p> <p>◆個別指導の時間を確保する。</p> <p>◆授業の流れを確認する際に、きちんと板書して確認する。</p> <p>◆授業1時間1時間の構想をもう一度しっかり行う。</p>
⑨一斉指導・グループ学習・個別指導、PCなどでメリハリのある授業を展開しているか。	60	58	64 ↑	<p>○グループ学習に取り組む姿勢がよい。</p> <p>○大型テレビは、大変有効であった。</p> <p>○タブレットが有効に活用できている。</p> <p>○「友達に教えてもらって…」と、振り返る姿が増えてきた。頭をつきあわせて追究し合う姿が嬉しい。</p> <p>○低学年からペアで学習したり、グループで活動したりする機会を作り、学び方が分かってきたように思う。</p> <p>○PCは、可能な限り使用するよう心掛けている。</p> <p>○ペアやグループ活動を取り入れ、話合ったり相談したりしている。</p> <p>◇PCを使いこなせていない。</p> <p>◇個別指導の必要な子への対応の難しい児童がいる。</p> <p>◆「ICT活用」の校内研修を行い、職員の意識と技能を高める。</p> <p>◆「丸北小スタンダード授業編」の徹底。</p>
⑩学習内容を定着させるために、授業の終末で「見とどけ」をしっかり行っているか	51	48	56 ↑	<p>○終末にノートを見ることで、学力が定着しているか確認している。</p> <p>◇ここが大事で、これができると定着率が上がるように思う。全教科でやっていきたい。</p> <p>◇子どもたちの言葉でじっくりとまとめて認めていく場が、もてるときもてないときがある。</p> <p>◇「振り返り」の時間を、きちんととりたい。時間配分が課題。</p> <p>◇授業の内容を進めることに追われて、1時間ごとにはできないことが多かった（単元のまとめはした）。</p> <p>◇どうしても時間が足りなくなる。時間配分をしっかりと立てると共に、次への課題を決め出して、終われる授業にしたい。</p> <p>◆「見とどけ」の時間を毎時間確保できるよう、時間配分に留意し、「丸子北小スタンダード」を意識して授業に取り組む。</p> <p>◆よい「振り返り」や「まとめ方」を紹介して、学級全体の意識を高める。</p> <p>◆「見とどけ」を分析して、次時の授業づくりに生かす。</p>
⑪授業につながる宿題を工夫し、保護者と協力しながら学年に応じた指導をしているか。	60	60	69 ↑	<p>○「つむぐ」の利用と、自主勉強の保護者のサポートにより、自主勉強の質が向上した。</p> <p>○宿題が何か分かる表を用意してから、確実にやれるようになっている。</p> <p>○授業を受けて、その日の自主学習を決め出せる児童が増えた。</p> <p>○その日の学習内容が家庭でも振り返られるように宿題を出してきた。九九がスムーズに身についた。</p>

				<p>○4年「月の動き」や「かん電池のはたらき」、観察や工作の課題に前向きである。</p> <p>○算数は、これまでの復習プリントを出して、基礎の定着を図っている。</p> <p>○廊下に自主ノートを提示し、友達のノートのよさに気付けるようにしている。</p> <p>○家庭でも、音読やプリント、漢字をよく見ていただいている。</p> <p>◇家庭の協力が難しい。協力が得られるよう、工夫していきたい。</p> <p>◇家庭学習については「個別化」も必要かと思われる。</p> <p>◆今後も、各学級・学年で児童の実態を丁寧に把握し、課題に合った内容の宿題を出す。</p> <p>◆「つむぐの活用」について、保護者の声も聞きながら、全職員で共通意識をもち、積極的に活用していきたい。</p>
よりよい人間関係づくり	⑫子どもが楽しく登校できるように、一人ひとりに声掛けしたり、家庭と連携をとったりしながら、一人ひとりに居場所がある学級づくりを行っているか。	65	68	<p>65 ↓</p> <p>○日頃の声掛けや学習支援など、自分自身の扉を大きく開け、学校嫌いを作らないための先行的支援を心掛けている。</p> <p>○よい気付き、よい心配り、前向きな取り組みや意思を表している姿に共感し、褒めるようにしている。</p> <p>○「褒める」「受け止める」を大切に、日々声掛けしている。</p> <p>○11月の「なかよし月間」に、なかよしカードで1日を振り返る時間をとった。意地悪や悪口がほとんどなくなり、クラスの間関係がよくなった。</p> <p>○友達との関わりについて、どのように言ったらよいか一緒に考えたり、友達のいい所を見つけて認め合う活動をしたりしている。</p> <p>○◇先生方が熱心に声掛けしてくださるので、保健室にいる子どもたちも教室に戻りやすい。支援の必要な児童がまだまだいるが、手が入り切れていない。もっと担任の先生からの情報がほしい。</p> <p>◇校内で連携をとりながら進めているが、もう少し広く情報が共有できるとよいと思う。</p> <p>◇見えてこない姿が、まだまだ多い。</p> <p>◆今後、さらに全職員で情報を共有しながら、連携して取り組む。</p> <p>◆「Q-U」の結果を活用し、一人ひとりに寄り添った支援を行う。</p> <p>◆子どもの見取りをしっかりと行えるように、日々の児童理解に努める。</p>
教育相談	⑬保護者や子どもからの相談に対して、適切な対応ができていくか。	63	62	<p>67 ↑</p> <p>○気になる子には、定期的に保護者と懇談をとるようにしている。</p> <p>○定期的な相談や、必要に応じての相談が行われている。</p> <p>○連絡帳のやり取りをできるだけしている。</p> <p>○相手に求めること、自分が取り組めることをすり合わせ、一緒に考え、その後を気にかけて、見守っていく姿勢。根気のよいかかわり。</p> <p>◇特支担任や特コが、情報の共有ができるともっとよかった。</p> <p>◇保護者や児童がどのように感じているかによる。</p> <p>◆今後も、保護者や子どもたちの声にしっかりと耳を傾け、誠心誠意対応していく。</p>
情報発信	⑭学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で伝えているか。	76	73	<p>73 →</p> <p>○毎日、連絡帳で保護者に学校での様子を知らせている。</p> <p>○学年通信が役に立っている（なかよし）。</p> <p>○いつも見させていただいています。読みやすく、参考になります。</p> <p>○HPお疲れ様です。</p> <p>◇「なかよし」のおたよりも、定期的に出せるとよかった。</p> <p>◆会議等を精選し、学級事務の時間を確保する。</p>
安全安心対策	⑮学校は、下校指導や、安全点検等を行い、事故防止や安全指導ができていくか。	73	68	<p>70 ↑</p> <p>○朝の登校の見守りを、皆で行えている。</p> <p>◇事故防止のために、遊具が一時期使えないのは残念だった。子どもの体が変わってきているのだと思う。</p> <p>◇「時に」になっていないか。「常に」にしたいと思う。</p> <p>◆休み時間の安全な遊び方等、共通意識をもち、学校全体で指導に当たる。</p> <p>◆学年集会を行い、意識化を図る。</p>
非違行為防止	⑯非違行為防止に努めているか。	80	91	<p>91 →</p> <p>○職員全体で、意識して取り組めた。</p> <p>◆今後も、職員の同僚性や関係性を高めながら、非違行為防止に向けて取り組んで行く。</p>